

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.31 野菜指定産地振興対策事業（生産基盤整備事業）			担当課	農政課			予算費目名	款 06	項 01	目 03		
事業概要 及び目的	国の指定野菜の人参の共販体制を維持し、生産意欲の向上と農業経営の安定を図るために、出荷に要する資材費（ダンボール箱）に対して補助する。			成果指標	出荷農家数、出荷数量	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度			
						予算額（単位：円）	5,600,000	3,818,624	4,536,000	(10,000,000) (生産基盤整備事業一括)			
						決算額（単位：円）	3,665,220	3,818,624	3,426,324				
						従事職員数	2	2	2				
事業の 位置づけ	章	4	活気あふれるいきいきとしたまち	成果目標	計画値	出荷農家数	60戸						
	節	1	商業、工業、農業の振興			出荷数量	120,000 箱						
	項	1	商業、工業、農業の振興			★左記施策（号）との結び付き 本市の基幹作物として位置付けられる春夏にんじんの生産は、農業振興の柱となっている。							
	号	3	農業の振興			従事延べ日数	8	5	5				
						民間活力の導入	現状は？：□実現している □将来可能性はある □将来困難だが可能性はある ■余地なし 相手は？：□市民 □市民活動団体 □企業・学校等 形態は？：						

2. 進捗状況

				平成 21 年 7 月 31 日記入					平成 22 年 6 月 9 日記入					平成 23 年 4 月 20 日記入
年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価）				22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価）				23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価）					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・春夏にんじん生産農家 58 戸が出荷した、122,174 箱の出荷資材購入費の 1/2、3,665,220 円を補助した。				・春夏にんじん生産農家 50 戸が出荷した、119,332 箱の出荷資材購入費の 1/2、3,818,624 円を補助した。				・春夏にんじん生産農家 50 戸が出荷した、103,828 箱の出荷資材購入費の 1/2、3,426,324 円を補助した。					
継続している 事項	・ ・ ・				・ ・ ・				・ ・ ・					
未着手事項	・ ・ ・				・ ・ ・				・ ・ ・					
改善案	成果指標				成果指標				成果指標					
	実績値 58戸 122,174箱	達成率 97% 102%			実績値 53戸 119,332箱	達成率 88% 99%			実績値 50戸 103,828箱	達成率 83% 87%				

3. 今後の方向性

				※課内協議を経て管理職が記入してください。	平成 21 年 7 月 31 日協議実施					平成 22 年 6 月 9 日協議実施					平成 23 年 4 月 26 日協議実施
今後の方向性	成果の方向性	拡充				○									
		現状維持													
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。	方向性	縮小													
		休廃止													
		休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性				休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性	
		★上記を選択した根拠 生産者の高齢化や後継者不足の中にあつて、指定野菜生産を推進するためには不可欠な事業である。生産者、出荷量の減少傾向を最小限に抑えるため、継続的に実施していく必要がある。				★上記を選択した根拠 生産者の高齢化や後継者不足の中にあつて、指定野菜生産を推進するためには不可欠な事業である。生産者、出荷量の減少傾向を最小限に抑えるため、継続的に実施していく必要がある。				★上記を選択した根拠 生産者の高齢化や後継者不足の中にあつて、指定野菜生産を推進するためには不可欠な事業である。生産者、出荷量の減少傾向を最小限に抑えるため、継続的に実施していく必要がある。					
方向性を実現するため実施すること（改革案）	担い手の育成。 品質の管理・向上、生産者の確保。				担い手の育成。 品質の管理・向上、生産者の確保。				担い手の育成。品質の管理・向上、生産者の確保。 平成 23 年度予算額 10,000,000 円は、補助金の見直しにより、① 都市農業振興活動支援事業（・都市農地環境保全事業補助金・生産組織活動費補助金） ② 土壌改良補助事業 ③ 軟弱野菜等試験展示圃補助事業 ④ 野菜指定産地振興対策事業 ⑤ちばのオリジナルブランド産地づくり支援事業 ⑥ 共撰・共販支援事業 の 6 事業 7 補助金を整理統合し、都市農業支援事業として予算計上した。						
前年度改革案の実施状況	■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。						